

NEWS RELEASE

2024年4月3日
大和エネルギー株式会社
株式会社三菱総合研究所

大和エネルギーと三菱総合研究所、再エネ併設型蓄電池事業の共同運用を開始 蓄電池の最適運用計画で太陽光発電所の収益最大化を目指す

大和エネルギー株式会社(代表取締役社長:東 武、以下 大和エネルギー)と株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長:藪田 健二、以下 MRI)は、大和エネルギーが保有する太陽光発電所「DREAM Solar 千葉佐倉」(千葉県佐倉市)に新設した蓄電池に、MRI の分散型エネルギーリソース運用計画策定サービスを連携し、4月1日から正式に共同運用を開始しました。

1. 背景

大和エネルギーとMRIは、2023年6月から「DREAM Solar 千葉佐倉」における蓄電池の共同運用を検討してきました(※1)。具体的には、FIT制度の適用を受けていた「DREAM Solar 千葉佐倉」をFIP制度に移行のうえ蓄電池を新設し、MRIの分散型エネルギーリソース運用計画策定サービス(MERSOL Operations※2)と連携して共同運用するシステムを構築しました。

このたび、システムの安定的な稼働が確認できたことから、2024年4月1日から正式に事業の共同運用を開始しました。

2. 本事業の概要

(1) 目的

「DREAM Solar 千葉佐倉」において、新設した蓄電池とMERSOL Operationsを連携し、蓄電池の最適運用によって発電所全体の運用収益最大化を目指します。

(2) 対象となる太陽光発電所と蓄電池のスペック

太陽光発電所:PVモジュール容量 518.1kWdc/PCS容量 333kWac

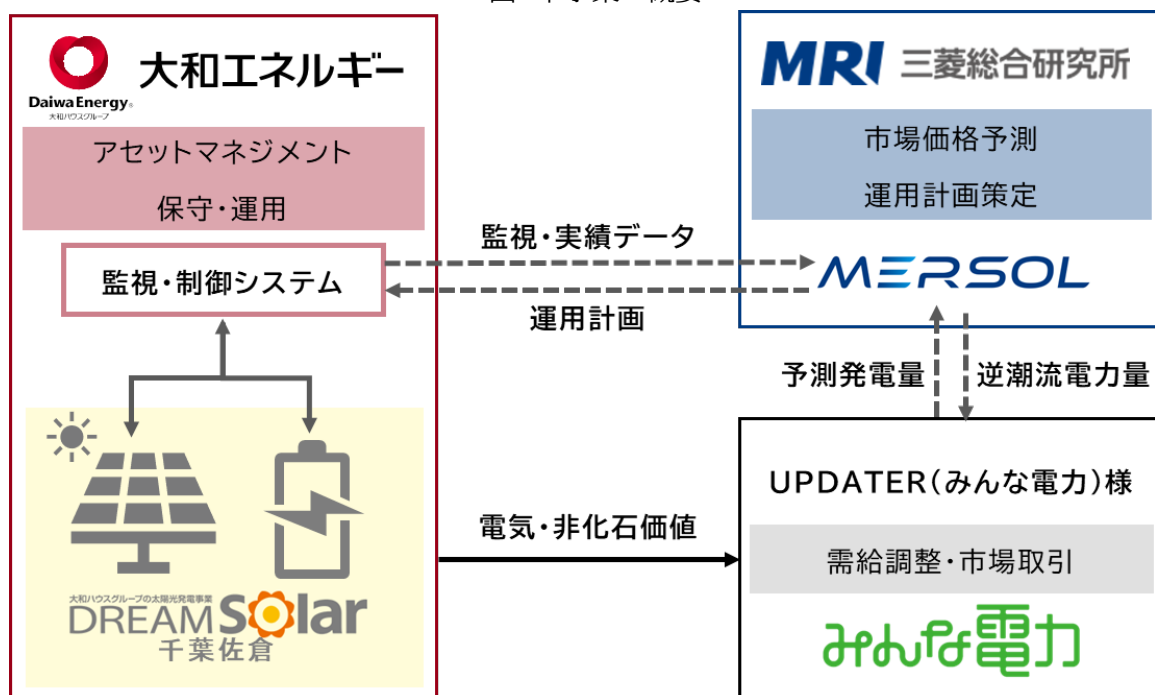
蓄電池 :出力 100kW/蓄電容量 193.5kWh

(3) 両社の役割

大和エネルギー: 新設した蓄電池を含む「DREAM Solar 千葉佐倉」の保守運用およびアセットマネジメント

MRI : MERSOL Operationsを通じて、独自の予測・最適化アルゴリズムを用い、発電所の収益を最大化するための蓄電池の最適運用計画を提供

図 本事業の概要



出所:大和エネルギーおよび三菱総合研究所

写真 新設した蓄電池



出所:大和エネルギー

3. 今後の予定

大和エネルギーとMRIは、本事業を通じて得られる知見を活かし、共同で蓄電池事業の拡大に取り組めます。また、蓄電池活用を通じて再生可能エネルギーの導入拡大と長期安定的な事業運営を図り、日本におけるカーボンニュートラル実現に貢献します。

※1:[大和エネルギーと三菱総合研究所、再エネ併設型蓄電池事業の共同検討を開始\(ニュースリリース、2023.6.5\)](#)

※2:[三菱総合研究所、分散型エネルギーリソース運用計画策定サービス「MERSOL Operations」を提供開始\(ニュースリリース、2024.4.3\)](#)

参考:

大和エネルギー株式会社 概要

名称:大和エネルギー株式会社

本社所在地:大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目1番43号 あべのハルカス33F

代表者の役職・氏名:代表取締役社長 東 武

事業内容:再生可能エネルギーに関する事業及び設計施工、省エネルギーに関する事業及び設計施工 他

資本金:5,000万円

設立:1999年3月

株式会社三菱総合研究所 概要

名称:株式会社三菱総合研究所

本社所在地:東京都千代田区永田町二丁目10番3号

代表者の役職・氏名:代表取締役社長 藪田 健二

事業内容:シンクタンク・コンサルティングサービス、ITサービス

資本金:63億3,624万円

設立:1970年5月

本件に関するお問い合わせ先

大和エネルギー株式会社

【内容に関するお問い合わせ】

電力事業部 エンジニアリンググループ 相良、有本

電話:06-4703-3208

【報道機関からのお問い合わせ】

同上

株式会社三菱総合研究所

【内容に関するお問い合わせ】

エネルギー・サステナビリティ事業本部 新事業推進グループ 尾瀬、杉谷、三浦

メール:energy-business-contact@mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

グループ広報部

メール:media@mri.co.jp